



2014年3月5日、珊瑚の日、渡嘉敷村と座間味村を含めた慶良間諸島が、31番目の国立公園として指定されました。多様なサンゴ礁、ザトウクジラの繁殖海域、**ケラマブルー**と呼ばれる透明度の高い海が広がります。

渡嘉敷村（とかしきそん）は、沖縄本島那覇市の西方に点在する島々、慶良間諸島に属し、那覇市からは32kmに位置し、南北約9km東西2kmであり、慶良間諸島内では最大の島です。

渡嘉敷島の北部から中央部にかけては200mを越す山々が連なり、島の東海に開けた海食盆地に「渡嘉敷（とかしき）」集落が広がっております。島の西側、慶良間海峡に面して「渡嘉志久（とかしく）」集落があり、南向きに開けたビーチの近くに「阿波連（あはれん）」集落があります。

令和5年6月末日の人口は678人で、近年は700人前後で推移しております。

■観光名所

あはれんビーチ
とかしくビーチ
西展望台
照山展望台
阿波連園地展望台 等



■とかしきの魅力

1月～3月にはホエールウォッチング、4月の海開きから10月いっぱいまでは遊泳可能な世界でもトップクラスの透明度を誇る海や、国指定天然記念物のリュウキュウヤマガメやケラマトカゲモドキ等が生息している今も変わらぬ自然。



村魚ーカツオ

■とかしきの沿革



古くから海を渡り交易を行い、琉球王朝時代には多くの男達が進貢船や楷船の乗組員として活躍しました。明治時代には鰹漁導入や慶良間薪の生産などで活況を呈しましたが、太平洋戦争における過酷な地上戦の場となったこと、後に基地が建設されたことなどにより鰹業は衰退し廃業となりました。

現在では、世界的な透明度を誇る海や、風光明媚で緑豊かな山々など自然の豊かさから観光業がリーディング産業となっている。



■とかしきの特産品

- まぐろジャーキー
- まぐろのつくだに
- 島むんゼリー
- 島むんジャム
- おかず味噌（まぐろジャーキー入り）

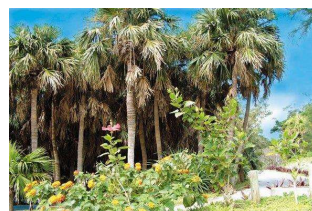
■とかしきの平和



村花ーケラマツツジ

1941年（昭和16年）12月に太平洋戦争が勃発し、1945年（昭和20年）3月23日の正午過ぎから始まった米軍艦載機の空襲では、集落のほとんどが焼失し、全島が山火事となりました。その後も砲爆撃は続き3月27日に米軍は渡嘉敷島に上陸、翌3月28日の住民の集団自決では330人も尊い命が奪われました。

現在でも、3月28日には戦没者を祀っている白玉の塔にて慰霊祭を行っております。



村木ークバ
（阿波連にある
“くば山”）



■主なイベント

- とかしきまつり
- とかしきマラソン
- 浜うり（旧3/3）
- 阿波連ハーリー（旧5/4）
- 渡嘉敷大綱引き（旧6/25）



渡嘉敷島

那覇から一番近い離島

■交通アクセス

渡嘉敷港⇄那覇泊港（とまりん）

- ・高速船（40分）1日2便
- ・フェリー（70分）1日1便

※季節や天候により増便や時間変更あり



■生活環境

・お買い物 商店（2）JAおきなわ支店（1）

・医療 診療所（1）歯科診療所（1）

・子育て 保育所（1）幼稚園（1）
小学校（2）中学校（1）

※高校は無く15の春で島を離れます。

・飲食店 村内には約20軒ほどあり、ランチはもちろん夜も営業しており、同僚や家族はもちろんイベント・行事後や仕事のお疲れさんでも利用出来ます。

海の家のようなお店からお洒落なカフェ、Barやカラオケ、最近ではキッチンカーも登場し、必ず好みの店が見つかるはず！



■スポーツ大会

- ・バレーボール大会
- ・野球大会
- ・村民体育祭
- ・駅伝大会



■住宅環境

- ・村営住宅70戸
- ・職員用住宅8戸
- ※木造4戸建築予定
- ・滞在型体験農園ログハウス5棟

■文化芸能団体

- ・慶良間太鼓同志会
- ・渡嘉敷村青年会
- ・フラサークル
- ・その他（三線教室や習字教室など）



担当：國仲 秀平
（くになか しゅうへい）
所属：渡嘉敷村役場 総務課
電話：098-987-2321
✉： dx-suishin@vill.tokashiki.okinawa.jp
HP：http://www.vill.tokashiki.okinawa.jp/



【担当者より一言】

沖縄本島の出身ですが、島での暮らしに憧れ、渡嘉敷村へ移住しました。島の穏やかで温かい雰囲気に囲まれながら仕事もプライベートも充実しています。那覇から近いこともあり、特に生活の不自由なく、楽しい島ライフを過ごしています。



総務課 税政係
徳元 有磨

1日のスケジュール

08:30 出勤・メール確認
10:00 各種処理
12:00 休憩
13:00 調査物回答
17:15 退勤

■仕事内容

住民税等の税金関係、ふるさと納税、村営住宅管理

■やりがい

業務内容的にも取扱いの難しい業務が多々ありますが、その分やりがいも感じます。

■きっかけ

離島で働いてみたいと思っていたタイミングで離島町村職員採用共同試験があることを知ったため応募しました。

■大変な所

一人暮らしで初めての離島での生活なので大変な部分もありますが、本島からも比較的近いので大きな不便は感じていません。

■仕事内容

2歳児クラス保育業務

■やりがい

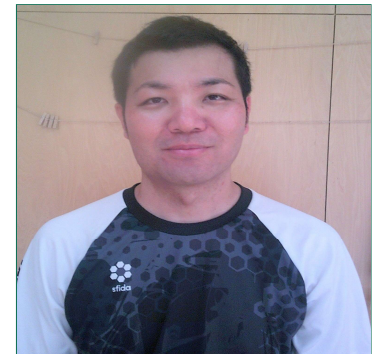
保育士は、子どもと関わる仕事なので日々の保育所生活で子どもたちの成長を感じることができます。

■きっかけ

離島共同採用試験があることを知り、渡嘉敷島では少人数のゆったりした保育ができると思い応募しました。

■大変な所

初めての離島暮らしということで、不安はありましたが楽しく過ごすことができます。



とかしき保育所
大城 勇史

1日のスケジュール

8:30 出勤、保育業務
12:30 昼食
13:30 保育業務、事務
17:15 退勤
※シフト勤務